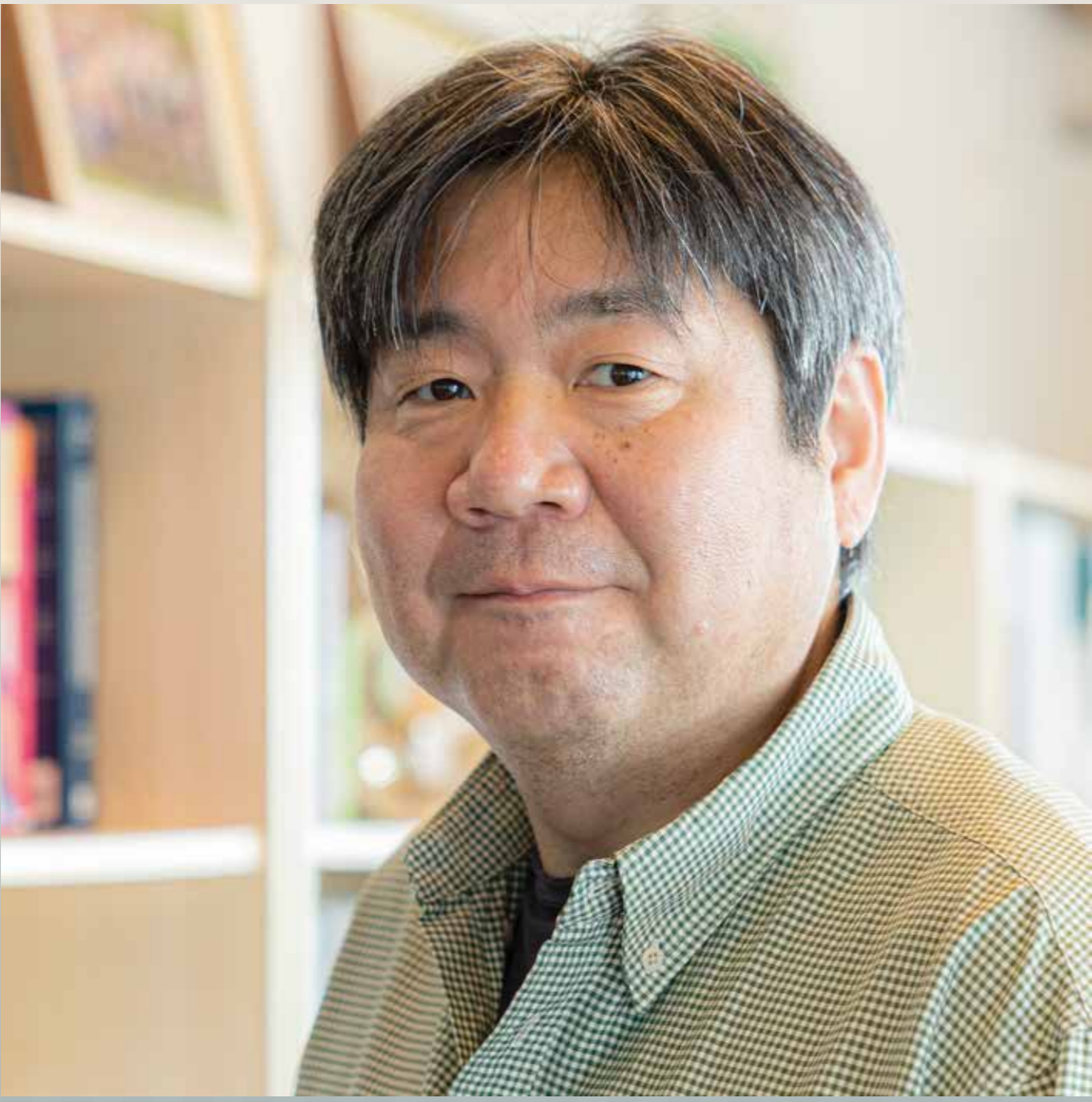


観光の戦略と組織

Tourism Organization and Strategy



竹林 浩志

TAKEBAYASHI Hiroshi

教授

Professor

専門領域 Areas of expertise

■ 経営学

Business Management

■ 観光戦略

Tourism Strategy

■ 組織とリーダーシップ

Organization and Leadership

主な担当科目 Subjects

■ 観光経営論

■ 観光組織論

■ 観光と意思決定

研究活動 Research

観光の運営がうまくいくかどうかには、戦略的思考をもつことが重要だと考えられています。戦略的思考とは、環境の変化やそれへの適応を前提として、獲得すべき目標を冷静に分析し、それに向かう適切な活動を確定することを考えることで、経営体が成功するのがあるいは失敗するのかに多大な影響を与えるものとされています。しかし、戦略はただ単に環境の変化に応じて決めればいい、というものではありません。特に観光に関する事業は、多くの場合人的サービスが中心になるわけですから、実際にサービスを提供する人々が当該経営体の戦略を十分に理解しておく必要があるでしょうし、また、地域全体の観光の運営の場合には、まったく異なった利害を持つ集団（企業や組織など）あるいは個人をまとめあげた上で戦略を策定する必要があります。つまり、そこに関わる人々（組織）を、いかにして経営体（地域）それ自体、あるいは経営体（地域）の戦略にひきつけるのか、ということが戦略策定・実行における重要な課題となります。

ゼミ活動 Education

□ 文献講読、フィールドワーク

経営学についての基本的な知識を習得します。専門書を読み、内容について議論し理解を深めます。また、実際の現場にも行って実際の状態を見ることで、理論を現実化することの難しさを理解します。

□ ビジネスプランにチャレンジ

学内・学外のビジネスプラン・コンテストに応募します。専門書から得た経営戦略の知識をもとに、「それを現実的な形にするには具体的にどのようなことを考えねばならないか」を実際にビジネスプランの策定をすることで理解します。

□ 卒業研究

ゼミ活動で得た知識をもとに、各自の関心に沿って研究テーマを決め、それを文章化します。



卒業論文／修士論文テーマ Thesis

- 着地型旅行商品に関する一考察
- 現在の旅行会社の在り方に関する一考察
- ブライダル業界における競争戦略 — ホテルウェディングのあり方に関する考察 —